

2016年11月6日

平成28年度 海洋・港湾構造物維持管理士資格認定試験

## 記述式問題 問題用紙

(試験時間 2時間30分)

### 注意事項

1. 監督員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は、大問として、問題Ⅰ、問題Ⅱの2問があります。これらのすべての大問に解答して下さい。2問の大問のうち、1問でもまったく解答がない大問があると、全ての問題が採点の対象とならないこともありますので注意して下さい。
3. 解答は、問題ごとに所定の解答欄に、横書きで記入して下さい。
4. 問題用紙および解答用紙には、受験番号と氏名の記入欄がありますので、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入して下さい。
5. 「始め」の合図があったら、直ちに問題用紙と解答用紙のページ数の不足や印刷の不鮮明なところがないことを確かめて下さい。もしあれば、手を挙げて申し出て下さい。
6. 解答には文字数制限がありますので、注意して下さい。不必要な空白は文字数として認めません。
7. 問題用紙の余白等は、適宜利用して差し支えありません。
8. 試験問題の内容についての質問は、一切受け付けません。
9. 解答時間は、「始め」の合図があってから2時間30分です。試験開始後60分までと終了10分前以降は途中退席できません。
10. 途中退席を希望する人は、監督員に受験票を提示の上、解答用紙を提出した後、静かに退席して下さい。
11. 「終わり」の合図があったら、直ちに解答の記入をやめ、解答用紙を机の上に裏返しにして置き、監督員の指示に従って下さい。
12. 問題用紙を持ち帰ることはできますが、解答用紙を持ち帰ることはできません。
13. 不正行為があった場合には、全ての解答が無効となります。
14. その他、監督員の指示に従って下さい。

受験番号				
氏名				

## 問題 I

次の設問（1）及び（2）について合計 800 字以上 1,000 字以内で解答せよ。

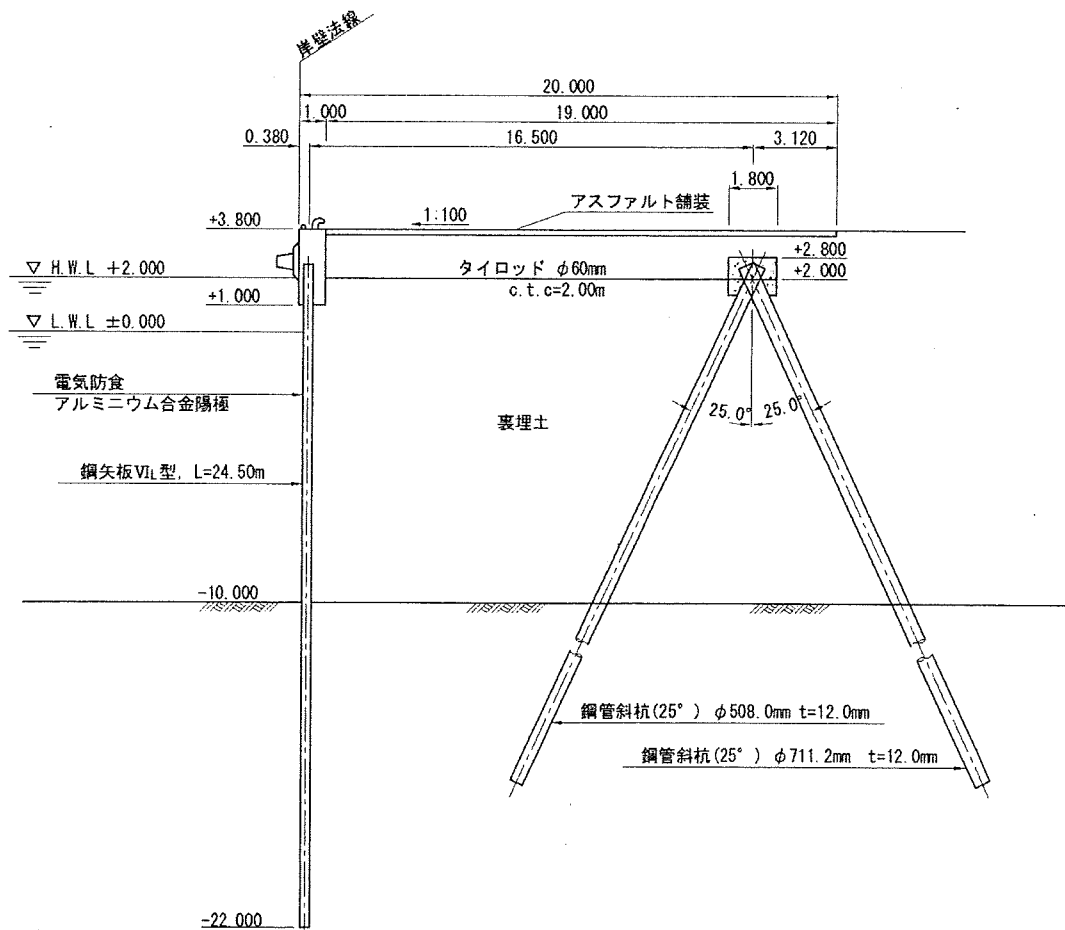
- （1）海洋・港湾構造物の計画、調査、設計、施工、維持管理等に関する業務経験を 1 つとりあげて、当該業務を通じてあなたが考える維持管理に関する課題を具体的に述べよ。
- （2）予防保全型維持管理を行っていく観点から、海洋・港湾構造物維持管理士が果たすべき役割について述べよ。

## 問題 II

次の設問について 1, 200 字以上 1, 500 字以内で解答せよ。

図に示す建設後 35 年が経過した鋼矢板式係船岸の点検を実施したところ、エプロン（アスファルト舗装）で部分的な水溜まりが生じており、鋼矢板の電位が防食管理電位を満足していない箇所があることがわかった。このような変状が生じた原因について考察するとともに、実施すべき詳細点検診断の内容（項目、方法等）及び補修対策検討の際に留意すべき事項について述べよ。

なお、鋼矢板は当初、腐食しろにより設計されており、15 年前に耐用年数 20 年の陽極を取り付けたものである。



鋼矢板式係船岸の断面